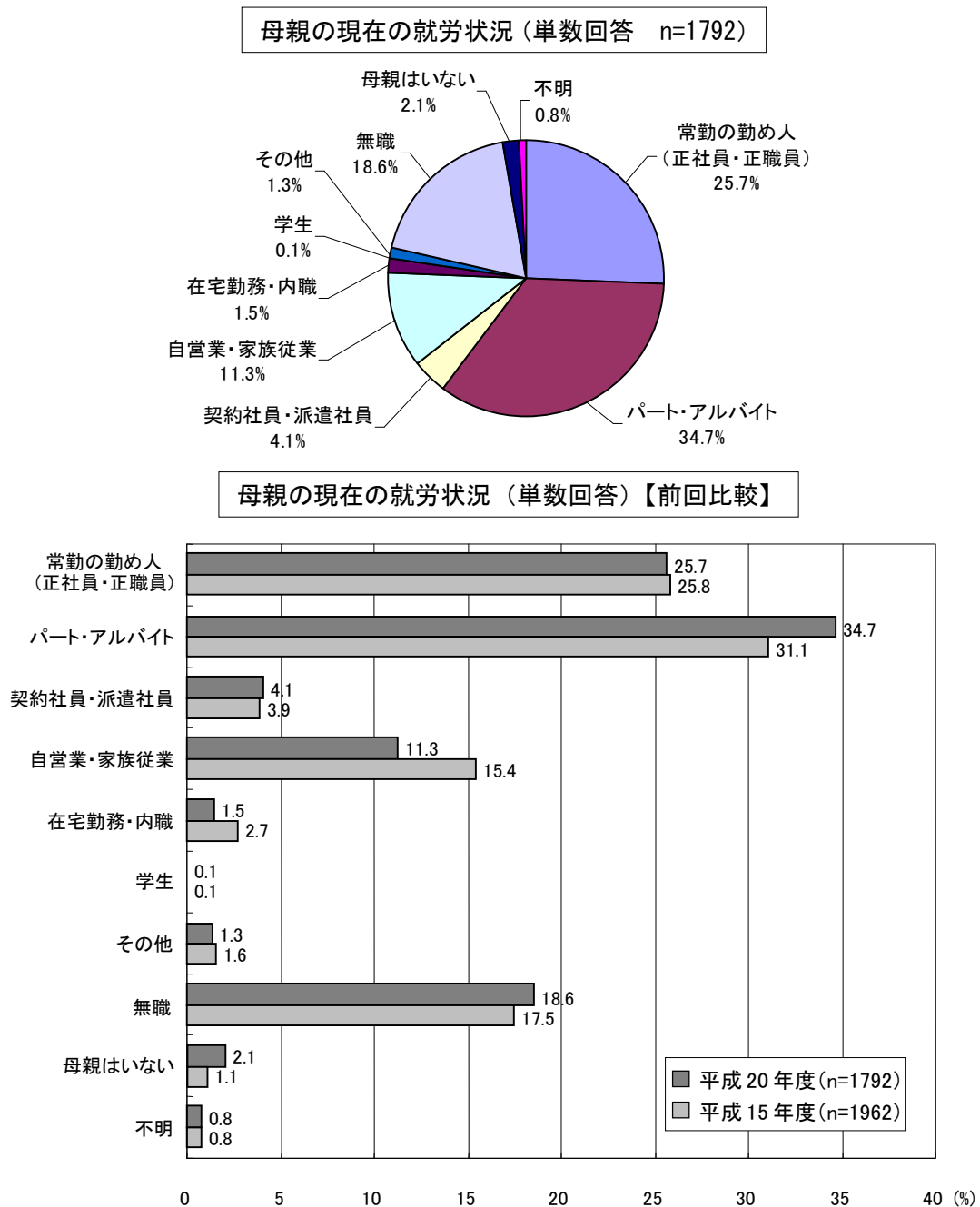


3. 子育てと就労

(1) 母親の現在の就労状況

「常勤の勤め人（正社員・正職員）」が 25.7%、「パート・アルバイト」が 34.7% などとなっており、現在就労している人は合わせて 77.3%である。また、「無職」は 18.6%であり、小学校入学前児童の保護者の 39.8%と比べ約半分となっている。

前回調査と比べると、「パート・アルバイト」などが増え、「自営業・家族従業」などが減っている。



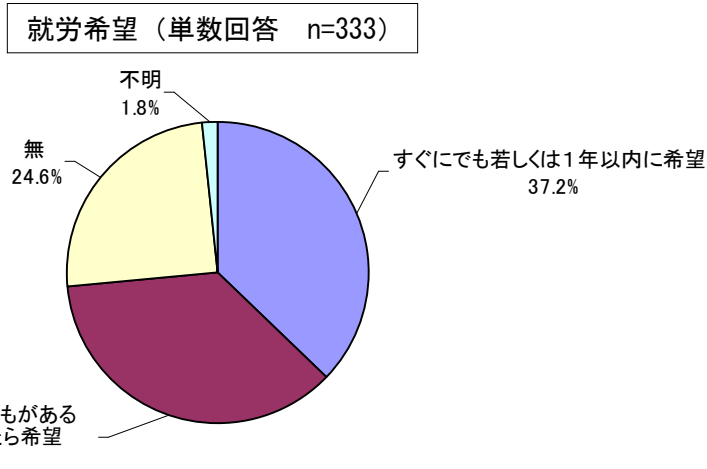
●就労希望

現在、「無職」と回答した 333 人に就労の希望を質問した。

「すぐにでも若しくは 1 年以内に希望」が 37.2%、「1 年より先で子どもがある程度おおきくなったら希望」が 36.3%である。

両者合わせた就労希望は 73.5%となる。

小学校入学前児童の保護者と比べ、就労を希望しない人と「1 年以内に希望」が多くなっている。

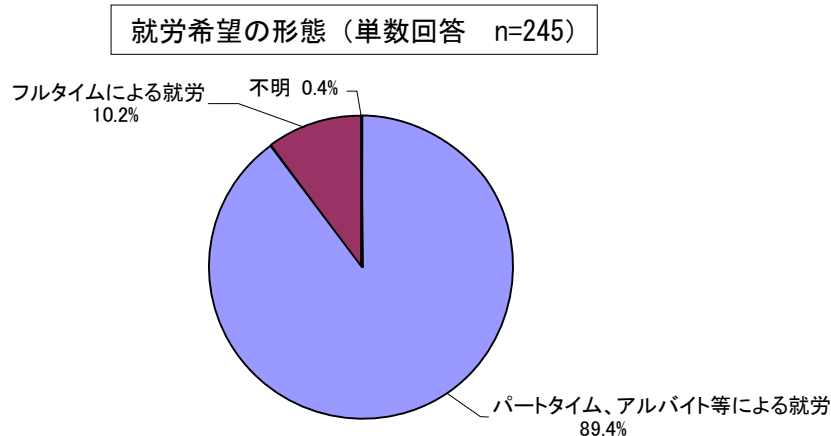


●就労希望の形態

将来的に就労を希望している 245 人に質問した。

「パート・アルバイト」が 89.4%、「フルタイム」が 10.2%となった。

小学校入学前児童の保護者と比べると、「フルタイム」が減り（小学校入学前児童の保護者：14.5%）、「パート・アルバイト」（同：83.3%）が多くなっている。



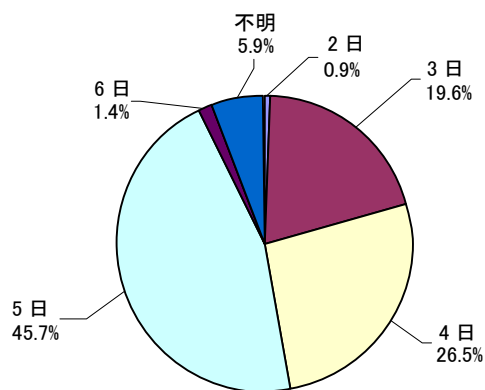
●パート・アルバイトの希望内容

「パート・アルバイト」での就労を希望する219人に、希望する就労日数や時間数を質問した。

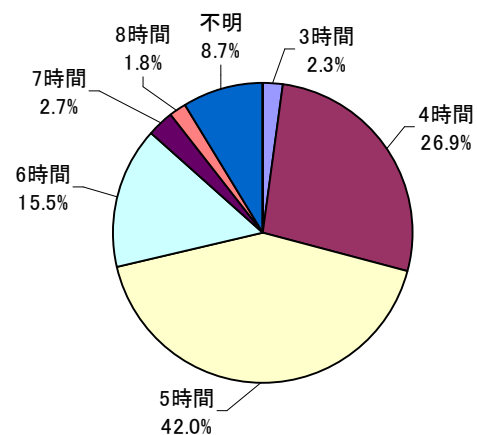
週当たりでは「5日」が45.7%と最も多く、また、1日当たりでは「5時間」が42.0%と多く、小学校入学前児童の保護者と同じとなっている（41ページ参照）。

週当たり日数と1日当たり時間との組み合わせでは、「週5日で1日5時間」が38人と最も多い。そのほか、「週4日で1日5時間」が33人、「週5日で1日4時間」が28人などとなっている。

希望する週当たりの日数（単数回答 n=219）



希望する1日当たりの時間数（単数回答 n=219）



希望する週当たりの日数と1日当たりの時間（単数回答 n=219）								上段：回答数、下段：割合	
	合計	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	不明	
全体	219	5	59	92	34	6	4	19	
	100.0	2.3	26.9	42.0	15.5	2.7	1.8	8.7	
2日	2	1	0	1	0	0	0	0	
	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
3日	43	1	14	18	6	0	0	4	
	100.0	2.3	32.6	41.9	14.0	0.0	0.0	9.3	
4日	58	0	13	33	9	0	0	3	
	100.0	0.0	22.4	56.9	15.5	0.0	0.0	5.2	
5日	100	3	28	38	19	5	4	3	
	100.0	3.0	28.0	38.0	19.0	5.0	4.0	3.0	
6日	3	0	2	0	0	1	0	0	
	100.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	
不明	13	0	2	2	0	0	0	9	
	100.0	0.0	15.4	15.4	0.0	0.0	0.0	69.2	

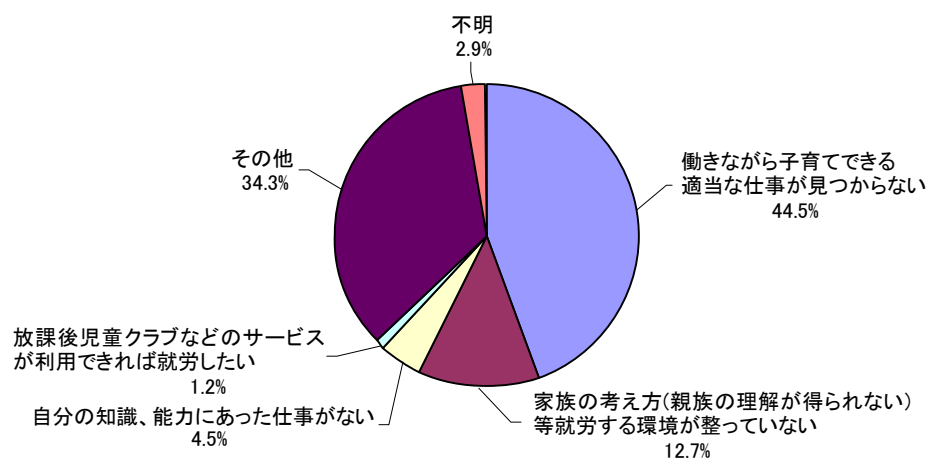
●就労希望がありながら現在働いていない理由

将来的に就労を希望している 245 人に、「働いていない理由」を質問した。

「働きながら子育てできる適当な仕事が見つからない」が 44.5%となっており、小学校入学前児童の保護者（33.6%）と比べ高い割合となった。

「その他」が 34.3%と全体の 3 分の 1 を占めているが、自由記述からその内容をみると、「下の子が小さいから」をはじめ、「子どもや本人の病気や障がい」、「低学年の間は家にいてあげたい」など、様々な理由が挙げられている。

就労希望がありながら現在働いていない理由（単数回答 n=245）



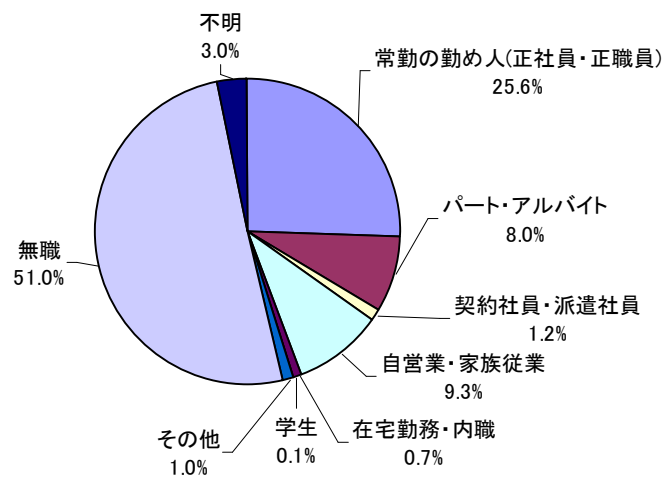
(2) 母親の出産時の就労状況

「常勤の勤め人（正社員・正職員）」が 25.6%、「パート・アルバイト」が 8.0% などとなっており、出産時就労していた母親は合わせて 44.8% となる。

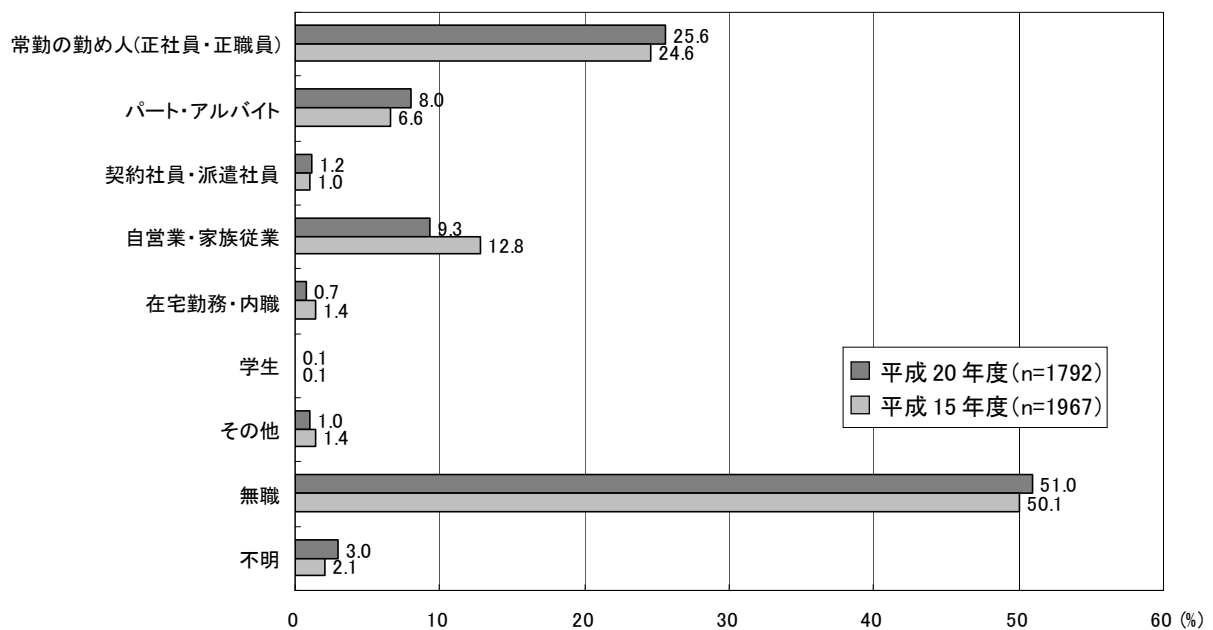
無職は 51.0% となった。

前回調査と比べて大きな変化はないが、「常勤の勤め人」や「パート・アルバイト」などが増えて、「自営業・家族従業」などが減っている。

母親の出産時の就労状況（単数回答 n=1792）



母親の出産時の就労状況（単数回答）【前回比較】

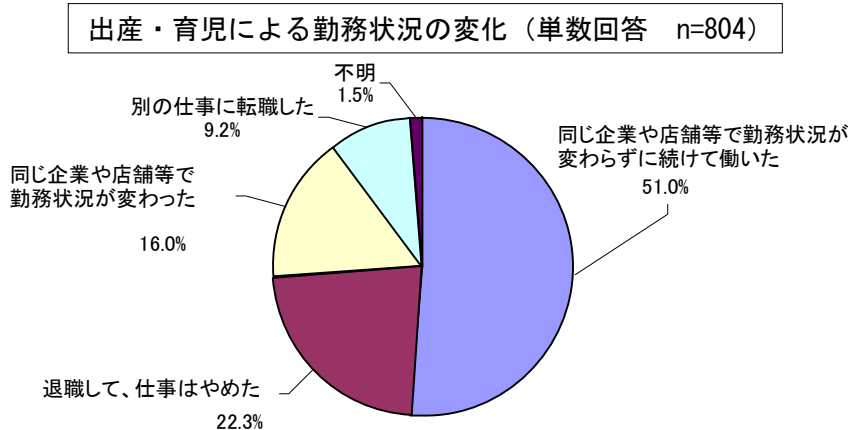


●出産・育児による勤務状況の変化

出産時就労していた 804 人に、「出産・育児による勤務状況の変化」を質問した。
「同じ企業や店舗等で勤務状況が変わらずに続けて働いた」が、51.0%で最も多い。しかし、「退職して、仕事はやめた」が 22.3%、「同じ企業や店舗等で勤務状況が変わった」が 16.0%、「別の仕事に転職した」が 9.2%で、合わせてほぼ半数の 47.5%で勤務状況が変わっている。

出産時の就労形態別にみると、「常勤の勤め人」では「続けて働いた」の割合が高く、「パート・アルバイト」、「契約社員・派遣社員」では「退職」の割合が高くなっている。

出産時と現在の就労形態を比較すると、出産時「無職」だった人の半数近くの 46.4%が現在「パート・アルバイト」で就労している。これは、小学校入学前児童の保護者の 24.1%の倍近くの割合である。



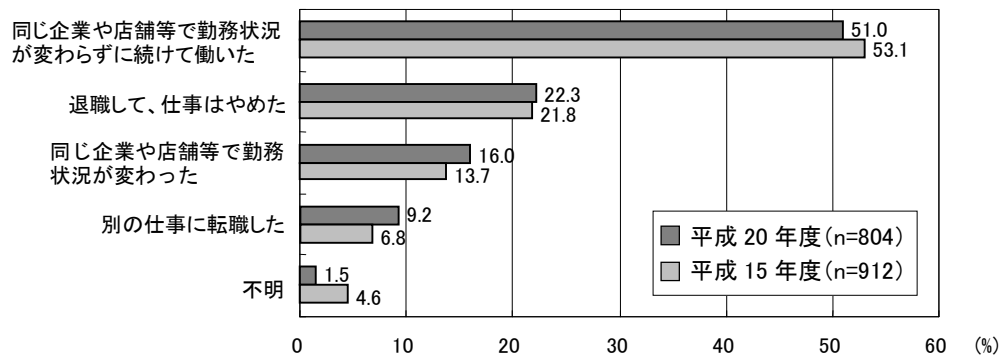
出産・育児による勤務状況の変化							上段：回答数、下段：回答率	
勤務状況の変化 出産時の就労形態	合計	同じ企業や店舗等で 勤務状況が変わらず に続けて働いた	退職して、仕事 はやめた	同じ企業や店舗 等で勤務状況が 変わった	別の仕事に転 職した	不明		
全体	804	410	179	129	74	12		
	100.0	51.0	22.3	16.0	9.2	1.5		
常勤の勤め人 （正社員・正職員）	459	274	100	59	25	1		
	100.0	59.7	21.8	12.9	5.4	0.2		
パート・アルバイト	143	39	51	15	37	1		
	100.0	27.3	35.7	10.5	25.9	0.7		
契約社員・派遣社員	22	6	9	4	1	2		
	100.0	27.3	40.9	18.2	4.5	9.1		
自営業・家族従業	167	87	16	50	7	7		
	100.0	52.1	9.6	29.9	4.2	4.2		
在宅勤務・内職	13	4	3	1	4	1		
	100.0	30.8	23.1	7.7	30.8	7.7		

第4章
小学生・中学生の保護者の意識調査結果

前回調査と比べると、「同じ企業や店舗等で勤務状況が変わらずに続けて働いた」は53.1%から51.0%に減っている。

かわりに、「退職して、仕事はやめた」が21.8%から22.3%に、「同じ企業や店舗等で勤務状況が変わった」が13.7%から16.0%に、また、「別の仕事に転職した」が6.8%から9.2%に増えている。

出産・育児による勤務状況の変化（単数回答）【前回比較】



出産時と現在の就労形態の変化												上段：回答数、下段：回答率	
現在 出産時	合計	母親 はい ない	常勤の勤め 人(正社員・ 正職員)	パート・ アルバイト	契約社員・ 派遣社員	自営業・ 家族従業	在宅勤務 ・内職	学生	その他	無職	不明		
全体	1792 100.0	37 2.1	460 25.7	621 34.7	73 4.1	202 11.3	26 1.5	2 0.1	24 1.3	333 18.6	14 0.8		
常勤の勤め人 (正社員・正職員)	459 100.0	3 0.7	305 66.4	76 16.6	12 2.6	15 3.3	4 0.9	1 0.2	5 1.1	35 7.6	3 0.7		
パート・ アルバイト	143 100.0	0 0.0	28 19.6	82 57.3	6 4.2	4 2.8	3 2.1	0 0.0	1 0.7	16 11.2	3 2.1		
契約社員・ 派遣社員	22 100.0	0 0.0	4 18.2	3 13.6	10 45.5	0 0.0	2 9.1	0 0.0	0 0.0	3 13.6	0 0.0		
自営業・ 家族従業	167 100.0	1 0.6	11 6.6	19 11.4	6 3.6	119 71.3	1 0.6	0 0.0	3 1.8	4 2.4	3 1.8		
在宅勤務・ 内職	13 100.0	0 0.0	1 7.7	6 46.2	0 0.0	0 0.0	4 30.8	0 0.0	1 7.7	1 7.7	0 0.0		
学生	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0		
その他	18 100.0	0 0.0	3 16.7	6 33.3	0 0.0	4 22.2	0 0.0	0 0.0	3 16.7	2 11.1	0 0.0		
無職	914 100.0	2 0.2	100 10.9	424 46.4	37 4.0	57 6.2	11 1.2	1 0.1	11 1.2	268 29.3	3 0.3		
不明	54 100.0	31 57.4	7 13.0	5 9.3	2 3.7	3 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 7.4	2 3.7		

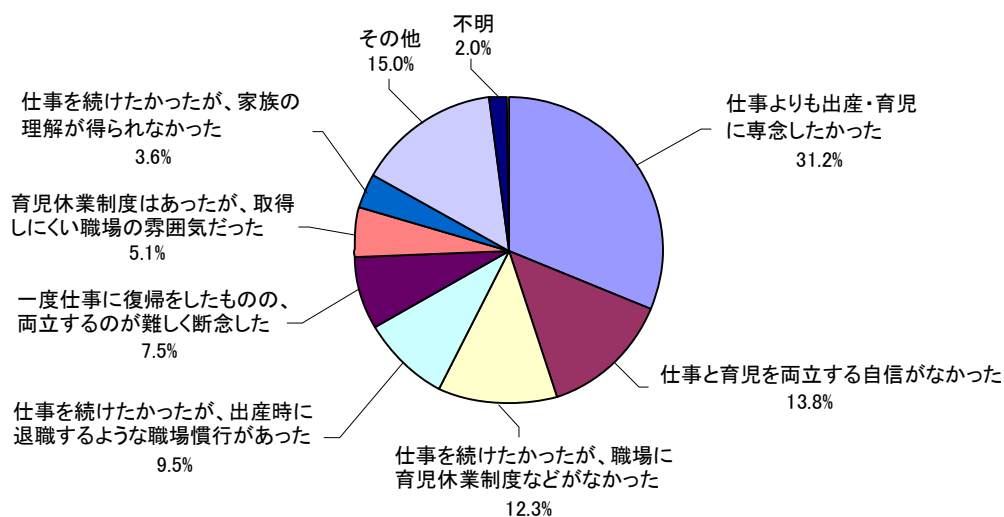
●出産・育児をきっかけに転職・退職した理由

出産・育児をきっかけに転職・退職した 253 人に、その理由を質問した。

「仕事より出産・育児に専念したかった」が 31.2%と最も多い。次いで、「仕事と育児を両立する自信がなかった」が 13.8%となっている。

一方、「仕事を続けたかったが、職場に育児休業制度などがなかった」の 12.3%、「仕事を続けたかったが、出産時に退職するような職場慣行があった」の 9.5%、「一度仕事に復帰をしたものの、両立するのが難しく断念した」の 7.5%、「育児休業制度はあったが、取得しにくい職場の雰囲気だった」の 5.1%を合計すると 34.4%となり、3 分の 1 程度の人が職場環境を理由に転職・退職している。

出産・育児をきっかけに転職・退職した理由（単数回答 n=253）



前回調査と比べると、「出産・育児に専念したかった」が前回の37.2%から、31.2%へと減っている。

一方で、「育児休業制度などがなかった」や「退職するような職場慣行があった」、「育児休業制度はあったが取得しにくい雰囲気だった」などが増えている。

出産・育児をきっかけに転職・退職した理由（単数回答）【前回比較】

